

多様な教職員の働き方に対応できるよう、「国立大学法人熊本大学男女共同参画推進基本計画」に基づき、制度の整備を行い、各種支援を実施しています。

国立大学法人 熊本大学

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39-1
TEL 096-342-3281 FAX 096-342-3281

代表者／原田 信志 業種／教育・研究

従業員数／3,167名

事業概要／本学は我が国有数の長い歴史と伝統を持ち、総合大学として世界を先導する教育研究を行い、その成果を社会に還元し、文化、科学技術、医療、教育などの発展に貢献しています。

URL／<http://www.kumamoto-u.ac.jp/>



アピールポイント

POINT
1

育児関連制度・休暇の充実

育児休業は子どもが3歳になるまで、育児短時間勤務制度や育児時間制度は子どもが小学校を卒業するまで取得することができます。

また、配偶者出産休暇、夫の育児参加休暇、子の看護休暇等、子育て世代が利用しやすい休暇が取得できます。

POINT
2

大学直営の保育園

医学部附属病院に設置されていた「こばと保育園」を平成21年度から大学直営とし、教職員の子ども(定員42名)を保育しています。

延長保育は20時まで対応しています。

POINT
3

幅広い支援の実施

入学試験等行事の際に教職員の子どもを預かる「託児事業」、NPO法人等と連携して実施する「病児保育事業」などを実施しています。



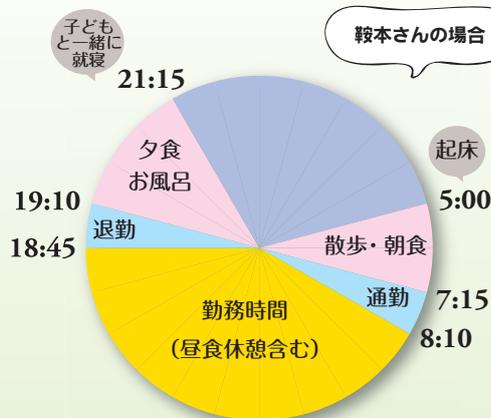
職員の声

運営基盤管理部
鞍本 正敏さん



小学校1年生と5歳の保育園児の子育てをしています。通常の家事と育児は妻と折半が基本ですが、タイミングによって手が空いている方が対応するようにしています。私は、まだ数少ない「男性の育児休業取得者」の一人ですが、勤務先の上司は皆、子育ての支援には寛容で、学校行事への出席や子どもの急な病気の際は休暇が取得でき、職場環境に恵まれています。そのため、ワーク・ライフ・バランスが取れ、ストレスを感じることなく子育てを行っています。

1日のスケジュール



Interview



熊本大学副学長(男女共同参画担当) 山縣 ゆり子さん

本学には数多くの子育て支援制度がありますが、男性の利用は少ないですね。制度の周知のため、パンフレットやホームページで詳細を紹介しています。大学独自の制度・施設として、小学校卒業時まで取得が可能な育児短時間勤務、育児時間、育児のための勤務時間の繰上げ・繰下げの各制度や、直営の「こばと保育園」があります。

また、子育て中の研究職には研究補助者をつける形で子育て支援を行っていますが、その効果が研究論文の発表も増えています。今後はさらに制度の周知徹底を図ることで、男女を問わず、子育て支援を行っていきたくと思っています。